

受験は団体戦

3年生の皆さんは、先月行われた体育祭は縦割り「団」の中心として、1，2年生を引っ張るリーダーとしての役割を果たしました。見事だったと思います。富士見中学校の新しい伝統の始まりを予感させてくれました。また、今月31日の校内音楽会に向けた合唱練習も既に始まっているところです。学級の仲間と力を合わせ、それぞれの学級の合唱を創り上げていくことを楽しみにしています。中学校生活の大切な思い出になるはずです。

とは言っても、中学校卒業後の進路選択・進路決定にも、十分な力を注がなくてはなりません。そこで、まずお紹介したいのは「受験は団体戦」という言葉であります。

「受験は団体戦」という言葉は、ある漫画で使われていた言葉です。その漫画は「ドラゴン桜」です。ある高校に講師として招かれた弁護士の桜木が、生徒たちを東京大学合格へと導くというストーリーです。数年前にはテレビドラマにもなっていました。

受験会場で答案用紙に向き合うのは「一人」ですから、その場面だけをみれば「個人戦」かもしれません。それでも、桜木は「受験は団体戦」というのです。ある時、桜木は「互いに高め合い、共に頑張る仲間がいて、初めて勝てる」と言っています。これが、「受験は団体戦」ということにつながります。受験本番の時期になると、乗り越えなくてはならない「壁」があらわれてきます。一人では、なすすべなく立ちすくんでしまう壁でも、そこに仲間がいれば、互いが土台となって壁に立ち向かうかもしれません、手をつなぎ合って、壁の上まで引っ張りあげ、壁を乗り越えることもあるのだと思います。先ほどは、受験会場で、答案用紙に向き合うのは一人だと言いましたが、仲間が作ってくれたお守りがそばにあったり、家族の言葉を励みにしたりすることも考えれば、やっぱり一人ではないのだとも思います。受験は団体戦です。

また、桜木は、漫画の中ではありますが、生徒に対して次のように話しました。

「人間は、はっきりとゴールが見えれば準備をし、達成へと着実に進む。逆に目標をもたなければ漂流し、やがて無気力になっていくんだ。」

生徒にとっての「ゴール」「目標」は、将来の夢につながるものだと思いますが、今年度に限定し、しかも上級学校に進学するのであれば、第一志望校への合格が「ゴール」や「目標」になるのだと思います。皆さんの志望校は定まっていますか。まずは、家庭でよく話し合い、三者面談等を通して、「はっきり」とさせていく必要があります。

本日ご来校いただきました保護者の皆さまも、見方を変えれば、団体戦の一員です。ただもちろん中心選手ではありませんから、お子さんが実力を発揮できるよう、支援の側に回り、様々な面からサポートしていただきますようお願いいたします。

それでは、進路説明会が始まります。お手元の「進路の手引き」をもとに、担当から具体的な手続きなどについても説明をさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

熊谷市立富士見中学校長 田沼良宣